

(組合員の購読料は
組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国鉄労組東日本本部
発行責任者 佐藤勝雄
編集責任者 伊藤隆夫

No 605 定価
20円

2004年
1月18日

第21回 東日本本部拡大委員会
日時：〇四年二月九日(月)
九時三〇分～一六時
場所：交通ビル地下二階「大会議室」

仕事総点検運動から 組織強化・拡大へ!!

国鉄闘争は新たな局面を迎えました。

昨年一二月二三日、最高裁は、私たちにとつての最重要課題でもある、国労及び全動労の採用差別事件に対し、「不当判決」を言い渡しました。この「不当判決」は、雇用関係の実態から目をそらした形式的な判決であり、五人の裁判官の内二人が反対意見を述べていることからしても、矛盾に満ちた判決といえます。この「不当判決」により、司法的な手続きによる闘いは厳しくなりますが、不当労働行為・不採用の事実は無くなるわけではありません。引き続き「O」勧告の履行を求め、現在取り組んでいる団体署名や、各機関の諸行動に集中し、不採用問題の一日も早い解決をめざし、「政府の責任による解決」を求めましょう。

一方、昨年一二月七日、国土交通省は、中央線の切換工事をはじめとした事故に、「個人によるミスではなく、組織的・構造的な問題があった」と、JR東日本を厳しく批判し「改善命令」を発しました。私たちはこの重大事故に、昨年十一月申し入れをしています。今尚誠意ある回答は示されていません。その意味では、私たちの労働条件は安定・安全輸送に直結する問題です。安心して働き続けられる労働条件の改善をめざし、「仕事総点検運動」の実践から組織「強化・拡大」を勝ち取りましょう!

「社員として在るべき姿について」

一週間前の一月二二日の「土崎工場報」に、「社員のあるべき姿について」ということで、休憩時間や制服着用時及び氏名札・社章着用時に以下の行為について注意されたいということが載っており、点呼でも訓示されました。

- 1 ポケットに手を入れて歩いていませんか。
 - 2 食事後に、爪楊枝をくわえてあるいていませんか。
 - 3 歩きタバコはしていませんか。
 - 4 列車内で携帯電話を掛けていませんか。
 - 5 車内で座っていませんか。
 - 6 制服の前ボタンを外して歩いていませんか。
- 以上の6点ですが、点呼でこの話がされた時、思わず笑ってしまいました。おそらく、誰もがひとつくらいは該当する項目はあるんじゃないでしょうか。
- 点呼が終わって、「〇〇長だば、電車から降りて工場さ来るまで、いっつもくわえタバコして歩いてくるから、そのこと言ってるのでねの?」とか「〇〇長も、いっつも爪楊枝くわえてるな」などの談議から「工場報」書いた人が直接その人に言えねがら、工場報に書いたんじゃないか」等々でした。
- ちょうど、JR東海とJR東の運転士の乗務中の携帯電話使用や喫煙が新聞に載ったので、勤務の厳正ということと載せた記事だったので、わたしならもう一項目追加します。
- 7 組合差別してませんか。

です。きょうは「土崎工場昇進差別事件」の第二回審問がおこなわれます。会社側証人と国労側証人への反対尋問がおこなわれます。地労委では会社側の不当労働行為を全面的に認める命令が出されましたが、中労委でも同様に勝利をめざしましょう。来年はいよいよ結審です。

「支部日報」(国労土崎工場支部)第465号(〇三年一月二八日)

12月21日(日) 使用開始となる D(デジタル)―ATC化の京浜東北線は いったいどうなるのでしょうか?

京浜東北線は、国鉄時代の一九八一年一月から地上信号機のATS―B型から車内信号方式のATC型に運転保安装置が変更となり、今日まで約二二年間使用してきました。今回、京浜東北線は新型のD(デジタル)―ATC型に一月二二日(日)から変更となります。

車掌は運転士と違い詳しい車両関係はわかりませんが、一月の指導訓練のなかで、①今まで以上に閉そく区間が細くなり運転間隔が詰められること ②現行のブレーキ力よりシヨックがない ③大幅過走してもHマークを越えないで停車できる ④山手線は現行のATCのため京浜東北線は山手線に入るが、山手線は京浜東北線に入れない ⑤そのため山手線のD―ATC工事が完了するまで「リフレッシュ工事はなし」との内容で説明されました。

会社の説明では「D―ATC化後は、運転間隔が詰められるため朝のラッシュ帯に増発できる」としています。お客さまにはダイヤ増発でいいことですが、導入後はどんなことが起きるのか、楽しみです。

運転士の訓練は机上講習だけらしい・・・

当初の予定では今年七月頃に導入でしたが、試運転時に信号とブレーキの関係でホームの〇両停止位置手前で停車するなどの地上設備不良のために、一二月に延期されました。そのため運転士は、通常の訓練以外にD―ATCだけの訓練を別に月二時間を二ヶ月間実施しました。その内容が、資料にもとづいた机上だけの訓練で現車訓練ではなかったことで、運転士も理解しづらかったそうです。導入も延期になったこともあり

■新体制のキツイ労働条件

ほかの現場では出向者等による「重大事故」が発生している。いかにもこの施策の誤りが浮かび上がっている。保線技術センターでは、少ない要員で逆に現場が伸ばされ、線路巡視が一日で終わらないこともあり、また出向会社でも大半の保線の仕事がパートナー会社任せになってしまい、夜間作業の多い日が続いており、皆が神経を使って仕事をしている。

過去、JR会社発足後、千葉支社内ではOさん、Yさん、協力会社のYさんが相次いで、触車事故により殉職していることは忘れられない。また、一九九九年二月の山手線の事故も無謀な外注化の実態を示している。

事故を起こしてからでは遅いので、こういった問題点等に対して皆で討論することが今、求められている。

差別・選別には点検・摘発手帳

「両保ニュース」(国労新小岩保線分会) 第166号
(〇三年二月一八日)

退職しても続く差別

昨年八月に退職したKさんの自宅に、八王子支社より荷物が届きました。中には、「退職記念品」と一通の手紙が同封されていました。一年半も過ぎて記念品を届け、手紙には「今後はより速やかに送付できるよう細心の注意を払う所存でございます。」とあったが、本人にとって退職は一度限りのものです。長年勤め上げたあげくがこれでは、現場申請はきちっとされていたとの事。本社人事課でもあきれてしまう八王子支社人事課の対応です。処分はいち早く出すがこれではたまりません。

本人以上に奥さんは怒っていました。当然です。もしかしたら、他にも同じ立場の退職者は、いないだろうか。しつかりしてよ。

年末手当がカットされていた

青梅線の国労組合員が五割年末手当をカットされました。査定期間に処分など無かったのに何でカットなの？管理者・東労組の五割一五割UPを確保するためにはいいかげんな理由でカットされたのではたまりません。

こんな状況を出させないためにも、国労の組織拡大が重要になってきています。勇気をもって、国労へ復帰・加入しよう。

一月二十四日、年末大掃除を午後半日かけて、全員で実施しました。一年の汚れを落とし明るい職場になりました。JRも、カクマルを一掃し明るく正常な労使関係を築きましょう。

「八王子ペンディング」(国労八王子事業所分会) No.010
(〇三年二月一八日)

加速する営業効率化

藤駅などMV30駅導入提案

支社は年末の一七日「販売体制の見直しについて」(MV30(指定席券売機)を川口・藤・浦和の各駅に二月末までに二台導入する計画)を提案してきた。それにより現行複数ある出札窓口を減らして一窓口にするのと、要員も三駅で七名の削減を実施する

というもの。

大宮支社的には昨年川越とさいたま新都心駅に提案されようやく稼動したばかりだ。MV30については首都圏を中心とした会社の効率化施策の目玉商品であり山手線などでも順次導入されている状況にある。大宮支社の中では平成一〇年以降の大宮駅でのMV10の導入に始まっているが、利用客の利用状況についてはまいちと言う感がある。結局利用客は使い方が分からないから出札窓口に並ぶが、窓口そのものが減らされていて当然待ち時間も多くなるし、出札担当者は今まで以上の発売を強いられることになる。大宮駅では指定席券売機に並んでいる客よりも、窓口で長蛇の列が出来ているのが現状だ。

これで利用者へのサービスの向上になるのか疑問だ。今回の提案でも駅要員体制の見なおしは、稼働日から一カ月後となっていて間違いなく要員削減はジワリとやってくる。

「国労大宮支部」(国労大宮支部) No.47 (〇四年一月一日)

分会旗開き

団結と懇親深め

二〇〇四年、分会旗開きが、一月七日(水)こくろう会館で開催された。舟濤書記長の「不当な判決にまけないでがんばっていきましょう」のあいさつで開会した。日野委員長からは「今年は切替も多く、仕事も大変と思う。申年にちなみ、聞いて、見て、ものを言っていこう」とのあいさつがあった。

来賓として、宮城県支部渡辺書記長がかけつけてくださった。書記長からは、「①職場の労働条件改善のために努力していく。②不当な判決に対しての取り組みは、中央委員会に決定されるが、判決の説明について、支部でも地区集会を開催して意志統一を図っていく。③より多くの組合員の声を聞いて、闘いと結びつけていきたい」とのあいさつがあった。

続いて年男の後村、坂本両氏と日野委員長による鏡開きが行われ、佐藤光昭さんの乾杯の音頭で歓談にはいった。

年男の両氏からは、「健康が気になるこの頃、気をつけてがんばっていききたい(坂本氏)」「見ざる、言わざる、聞かざるで今年はいこうとおもっている?(後村氏)」との抱負が語られた。

各班や出向者の方からは次のような発言がされた。

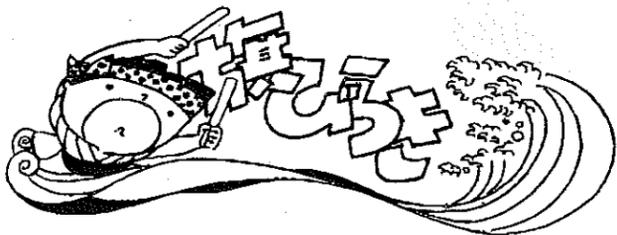
A氏(出向) 半年ぶりに現場から仙台に戻ってきた。改札のスイカが分からず、スイカカードを自動改札に入れてしまった。年末だったので、すぐに行列となり恥ずかしい思いをした。仕事では、JRから「跡確認をしる」と言われたが、現場では当然行わなければならないことだ。当然の事を声高に言うてくること自体問題なのではないか。

B氏(出向) テーブルのほとんどが東北所OBで、工事事務所分室と言われている。昔の仲間といっしょにがんばっている。

C氏(出向) 大リストラが行われ、発注・設計変更をやる人がいない状況で頭が痛い。我社(出向先)の積算は使い物にならないが、改善しなければと上司に言っているが、結果が見えない。

D氏(出向) 出向先の会社は、出向者を長時間労働させるために「JRを辞めてこい」といっているが、これは支社では認められていない。皮肉な話だが、支社の方が歯止めをかけていると言わざるを得ない。

E氏(出向) 相変わらず残業が多く、協定時間を超えている状況だ。出向会社では、超えた分は来年度に廻すというが、これでは問題の解決にならない。いくら上司に言っても、馬の耳に念仏で聞いてくれない。工事事務所でも出向先の



事として切り離している。ここが問題だ。
 F氏(仙台工区班) 昨年は忙しく、みんな立会いなどで現場に出るため、日中は工事に人がいない。とにかく目まぐるしい一年であった。助役に「人を増やして欲しい」と頼んでも、「上が聞いてくれない」とあきらめている。
 G氏(南総班) とにかく発注しなければならぬ状況だ。国労組合員が主要な所にうまく配置させられている。貨物からみの切り換えは、正月・GW・盆に行われているが、社員のことを何も考えていない。

H氏(北総班) 昨年の暮れに全体で忘年会をやった。気がねすることもなく、楽しい会であった。
 チェックマンに指定されているが、自分の仕事もあり手が廻らない。
 発言の概要は以上であるが、引き続き川柳大会が開催され、盛況の内に旗開きは終了した。

「ろはた」(国労東北工区事務所分會) No.482 (〇四年一月二五日)

自衛隊のイラク派兵 やめよ!

フセイン元大統領拘束しても終わらず

イラクでフセイン元大統領が米軍に拘束されました。弾圧などでイラク国民を苦しめ、クウェートを侵略したフセインに対する裁きは、国際世論の監視のもと、法にのっとり厳正に行なわれなければなりません。

米英占領下のイラクでは、憎悪と暴力の応酬が激しくなっており、フセインの拘束がイラクの安定・復興につながる保証はありません。

イラクの米占領軍司令官も、米軍などへの攻撃が終わるとはみられないと述べました。

憎悪と暴力は終わらず

米大統領も、フセイン拘束はイラクでの暴力の終結を意味しないと述べています。だからこそ、多くのイラク国民が失業など、生活の困難や治安の悪化などで軍事占領支配に対する怒りの声をあげており、占領終結とイラク国民自らの政権を求めているのです。

米英の無法な戦争と横暴な軍事占領支配こそが、イラクの復興を妨げていることは現実が教えています。



イラク問題の解決の道は、占領体制を終わらせること

国連事務総長が安保理への報告書で、イラクの治安の悪化を指摘し、「軍事的手段だけでは解決しない」と、米英軍のイラク占領を短期間に終わらせることを要求していることにも示されます。

イラク問題の解決のためにはイラク国民の主権を早期に回復し、国連の枠組みのもとでの復興支援に切り替え、米英が撤退することが求められています。

国連主導へ外交努力を!

占領軍を支援する自衛隊派兵は、日本をイラク国民の憎しみの対象にし、怒りをさらにかき立て、戦争を長引かせることによつてイラクの安定をさらに破壊し、復興を遅らせることとなります。米英軍主導の占領支配を一刻も早く終わらせてこそ、占領支配への怒りと憎しみを取り除き、イラク国民による政権づくりを進めることができます。

そのために国際社会に働きかける外交努力、そして憲法九条を持つ国として、日本がなすべきことです。イラクの戦場に自衛隊を送る計画は、ただちにやめるべきです。

民主主義の破壊者は

イラクへの自衛隊派兵は、武力による威嚇や武力の行使を禁止した憲法を蹂躪するものです。

イラク全土が戦場化し、政府でさえ答弁書で「同国内における戦闘が完全に終結したとは認められない」と述べていたのです。派兵地域を「非戦闘地域」に限定したイラク特措法の建前にも反しています。

小泉内閣が圧倒的多数の世論に背いてイラク派兵を強行するならば、自らが民主主義の敵対者であることを証明するだけです。

『イラク派兵やめよ!』の声をさらに広げて、歴史的暴挙をなんともくいとめましょう!

国労東京第二事業所分會 二〇〇三年二月号



東日本本部へ機関紙を送って下さい。

FAX番号

NTT 〇三―五四〇三―一六六一

JR 〇五七―三二六二